

## e-ビーフNEWS 北の牧場から

April 2014

春が来ました

帯広は昨日から急に気温が上がり、今日は13℃と外にいるとぽかぽかです。5時過ぎたら、ほんに明るくなり、日の出がこんなに早かったかなと思えるぐらいです。積もった雪は、どんどん融け、周りの畑は乾いて、表面がひび割れてきました。庭の日の当る南斜面では、スイセンやチューリップの芽がのぞいています。まだ朝は、氷点下になるので、少しかわいそうですね。氷上釣りで楽しませて頂いた十勝川河口域、あの厚い氷もなくなり、雪解け水でとうとうと水量を増し流れてゆきます。

内地(ないち:北海道外をそう言うのですが)では、桜の開花宣言を聞きます。北海道は5月に入ってから南の函館から順次上がってきます。札幌は、5月連休、帯広は連休明け、知床の最終開花は、5月の末まで掛かります。出張の多かった私は、何度も花見で一杯できるので、周りからはうらやましがられていました。皆様も、春の陽気に誘われて、ぜひ十勝にお越しください。



## NEWSばか読み

- 関東東北に大雪被害農家ハウス、畜舎倒壊相次ぐ  
2/21:北関東肥育農家素牛購買減
- 減反廃止で飼料米増産の気配  
2/21:コメ偏重・ゆがみ増幅
- 気象庁/北日本冷害の可能性予測  
2/26:エルニーニョ発生の兆し
- Jミルク スーパーに乳製品を使った食育拠点づくり  
2/26:もっとミルクを
- 子牛取引ランキング2013年度十勝26千頭で断トツ一位  
2/26:産地の集約化進む
- カルビーEU進出 英国工場建設 2/26:日本の食品の伸長
- あしよろTMRセンター(十勝足寄町)稼働  
3/3:酪農分業化が進む
- フーデックス2014開催  
3/5:和食に注目、シニア・女子会がテーマ
- 東急不動産 農地再生活用の担い手に  
3/5:大手不動産 民間参入どこまで開放か
- 日豪EPA交渉大詰め  
3/6:牛肉の関税率攻防戦30.8%~20%まで下がる可能性
- 牛白血病の治療に光さす北大  
3/6:キメラ抗体使って。ヨネネ病等の治療の可能性
- コープさっぽろ 再生エネルギー買取し店舗使用

- 3/7:エネルギーの自由化のきっかけ
- 恐竜の絶滅原因 硫酸雨か  
3/10:隕石ばかりでなく人為も PM2.5は
- えこめ牛 熊本JA菊池でブランド化  
3/10:飼料米のブランド化が進む
- 水産庁クロマグロ捕獲50%制限 3/11:資源に限界値
- STAP細胞論文撤回へ 3/12:おじさんショック
- フィリピン牛肉輸出認可 3/12:食べるんだらうか
- 米韓FTA発効2年  
3/12:肉牛肥育農家の廃業15千戸 TPPの将来像
- 三井物産 国内最大級のトマト工場山梨県に  
3/14:大企業の農業参画 農業に魅力
- 原発再稼働の可能性 鹿児島川内原発  
3/14:鹿児島島の農家は認めるのか
- クリミア併合の影響  
3/17:シベリア農業開発や北方領土がまた遠のく
- IY岩手に和牛専用工場  
3/18:6次産業・エスフードの施策注目
- 畜産草地研 WCS生産履歴をスマホで  
3/19:飼料米のトレサビ化に
- 消費税の影響軽微か反動減察観視  
3/23:末端消費者はかしこいよ
- ヤマト 中国全土の宅急便ネットワーク  
3/24:アクセスが整えば次は

## 東京直近NEWS (3/25ShREPORT)

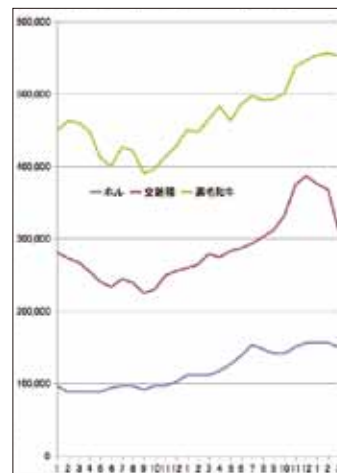
## ホルス

上位部位(ロース、カタロース)の販売低迷は継続状態。各社余剰傾向強く、単価対応で販売か冷凍規格の製造で処理している状況。今年末は、冷凍カタロースの在庫十分の兆しもあり、在庫過多も予測。ヒレも引合いはそれなりも、評価価格はやや下降傾向。頭数は前月比100%程度の出荷見込みも、上位部位の販売不振から処理頭数の減頭も産地は検討。4月 上位部位不振継続。季節がら焼き材シーズンにシフトしており、バラ系の引合いは好調。輸入物の品薄と高値から引合いは強い。

## 経産

相変わらず市場相場は高値安定。牛乳生産の不足から今後の出回り頭数の回復は皆無の予測。各社牛正肉在庫数量も薄く、1ヶ月から2カ月程度の在庫。在庫状況も薄いことから購買欲は弱まらない。末端の挽材需要も国産高値も輸入に完全シフトしている状況ではなく。国産と輸入の使い分けをして引合いは継続。

十勝素牛相場2012-2014



最近の新聞の話題は、3年経った東日本大震災と原発の再稼働。日米間の農産物5項目(586品目)の関税撤廃で揉めているTPP(Trans Pacific Partnership)ですが、日本が参加しなければ意味が無く、米国のごり押しで難航していますが、本音はTPP交渉よりも欧州とのTTIP(Trans Atlantic Trade Investment Partnership)の方が大統領再選には気が掛かりなのです。米の減反政策の停止で道内では飼料米の動向も関心事の一つです。

## 日本畜産学会大会講演要旨にみる飼料米と肉牛に関する研究動向 大会講演要旨分析

**1** 2013年116回大会(広島;安田女子大)では、栄養飼養関係の演題数約115のうち稲、飼料米に関する報告は16題です。その殆どは肉牛特に黒毛和種で、飼料コストを考慮してモミ米給与やサイレージかなどが主流ですが、豚ではソフトグレインなどのリキッドフィーディングもあります。

**2** 2012年115回大会(名古屋大)では、畜産物利用を含めて栄養飼養関係の演題が197題です。そのうち、稲、飼料米に関する報告が鶏、豚を含めて21題あります。肉牛では粉碎玄米とDDGSを組み合わせた発酵TMRの調製と肉質への成績などの報告があります。肥育用配合飼料との代替で25%程度では肥育成績に負の影響はありません。

**3** 2011年114回大会(北里大)では、ワークショップ、ポスターを合わせて栄養・飼養、畜産物利用分野の発表は179題で稲、飼料米関連は35題で豚や鶏に関するものが中心です。黒毛和種肥育牛に稲発酵TMRを給与すると官能特性を変えることなくVt.Eを蓄積する効果が得られるという報告があります。

4

2011年113回大会(東農大)は東日本大震災で中止となりました。

5

2010年112回大会(明治大)は、栄養・飼養、畜産物利用分野合わせて183題の発表があり、稲、飼料米関係の報告は13題です。対象家畜は子豚、ヒツジ、乳牛・肉牛、鶏肉と多様でルーメン液性状も検討されました。黒毛和種肥育牛に初着き粉碎飼料米を25%代替すると嗜好性が高く発育・採食量に遜色はないという結果でした。

6

2009年110回大会(日大)は、栄養・飼養の分野で126題の報告があり、稲・飼料米関係の発表は7題です。飼料稲サイレージとして粳米(カカリ)と糯米系(おどろきもち)との消化性の違いを乳雄去勢牛で検討し、糯米系は粳米系より消化性が高い傾向であったがTDN栄養価は同程度と考えられた。一方、古米玄米をF1牛に配合飼料の30%以上代替すると、A/P比は低下し、ルーメン発酵に影響が現れた。

## 畜産試験場NEWS

### とうもろこしサイレージ肥育牛の成績 (地独)北海道立総合研究機構 畜産試験場 肉牛G 斎藤早春

とうもろこしサイレージと大豆粕で12ヵ月齢から30ヵ月齢まで肥育した黒毛和種去勢牛の肥育成績についてご紹介します。

とうもろこしサイレージと大豆粕の給与割合は乾物で約90:10で、出荷前の原物摂取量は1頭あたりとうもろこしサイレージが25kg、大豆粕が0.8kgでした。

肥育中期以降は、乾物で8kg前後を安定的に摂取していました(図1)。肥育開始時の体重は標準発育の下限値程度でしたが、出荷時には平均値と同程度の体重となっていました(図2)。

格付成績は3頭ともA3で、BFS No.が5もしくは6と脂肪色が黄色いという判定を受けましたが、枝肉単価は市場でのA3の枝肉単価平均と同程度でした(表1)。

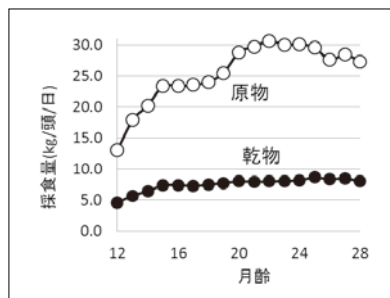


図1 試験牛の採食量

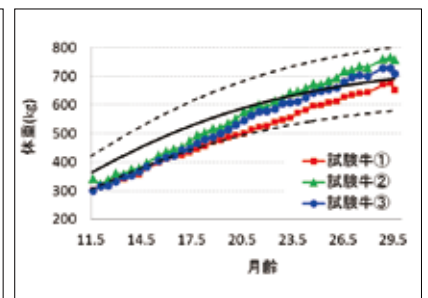


図2 試験牛の体重

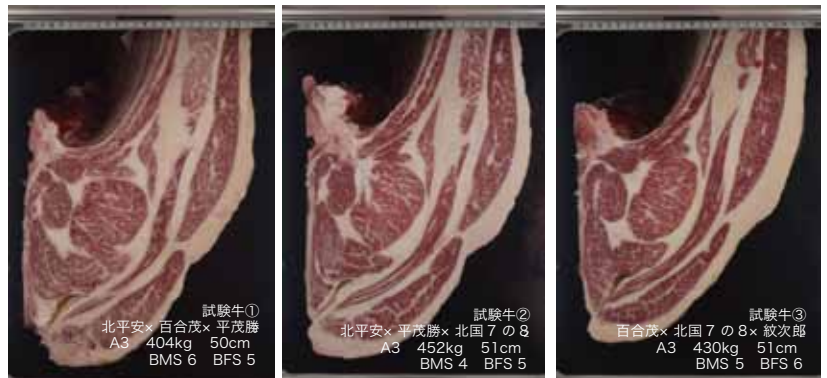


表1 試験牛の枝肉成績

	等級	枝肉重量	ロース芯面積	ばら厚	皮下脂肪厚	BMS	BCS	締まり・きめ等級	BFS	単価
試験牛①	A3	404	50	7.3	2.3	6	5	3	5	—
試験牛②	A3	452	51	7.4	1.7	4	4	3	5	1570
試験牛③	A3	430	51	7.5	2.5	5	4	3	6	1560